

2025 年度
エリザベト音楽大学
一般選抜（前期日程）

幼児音楽教育専修 記述問題（出題意図・解答例）

【出題意図】

幼児教育における歌唱活動の意義に関わる考察力を見る設問である。経験や保育現場での具体的な事例の記述においては、印象に残った理由を明確にしながら、歌唱活動の具体やそこでの幼児の様子・保育者の支援を示すことが求められる。その上で、具体的な事例と歌唱活動の意義を結びつけながら論じることで、幼児教育における歌唱活動の役割や影響を客観的に考察する力を問うている。幼児音楽教育に対して主体的に考察ができているか、基礎的な文章構成力があるかを評価する意図がある。

【解答例】

幼稚園や保育所の歌唱活動の中で印象に残っているのは、年中での歌の発表会だ。歌を通して、子どもたちの個性や表現の違いに気づくとともに、イメージを共有しながら歌う楽しさを感じることができた。

発表会では「にじ」を歌うことになった。しかし、練習を始めると、ただ元気に歌う子、恥ずかしそうに小さな声で歌う子など、歌はバラバラだった。ある日、保育者が「この歌のどんなところが好き？」と問いかけると、「雨上がりの感じがきれい」「ここは楽しい」など、様々な意見が出た。互いのイメージを認め合うと、歌への思いが深まり、声を聞き合いながら歌えるようになった。本番では全員が心を込めて歌うことで、声も揃い、温かい雰囲気での発表を行うことができた。

歌詞の意味を考え、互いの感じ方を共有することで、一人ひとりの歌い方が変わり、クラスのまとまりも生まれた。歌を通して自己表現し、それを認め合うことができたため、年中での「にじ」の歌唱活動が最も印象に残っている。(415 字)